

H19 環環管第 41 号
平成 19 年 6 月 8 日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 様

仙台市長 梅 原 克 彦



新仙台火力発電所リプレース計画に係る
環境影響評価方法書について（意見）

平成 19 年 4 月 27 日付環政第 26 号「新仙台火力発電所リプレース計画環境影響評価方法書に対する意見について（通知）」に対し、本市の環境の保全の見地からの意見を以下のとおり申し述べます。

記

1. 事業地域である仙台港周辺は仙台市緑のマスタープラン（仙台グリーンプラン 21）の中で“緑化の必要性が特に高い地区や緑化の実現性が高い地区”として挙げられていることから、事業にあたり樹林帯や森林の創出なども視野に入れた質の高い緑化計画の策定に繋がるよう、調査、予測および評価を実施するよう求めるべきである。
2. 生態系に関する調査を行うにあたり、地域生態系を特徴づけるものとして選定する種が一部未定とされているため、種を選定した理由や過程も含め、環境影響評価準備書に具体的に記載するよう求めるべきである。
3. 温室効果ガスについては、本事業のみならず事業者が行なう電力事業全体を考慮したうえで調査および予測を実施し、可能な限りの排出削減が達成されているかを評価するよう求めるべきである。

以上

担当：環境局環境部環境管理課 杉野目

電話 022-214-0013

FAX 022-214-0580

